

四天王寺夕陽丘保育園

We keep moving forward, opening new doors.

「前へ進み続け、新しいドアを開き続ける」という意思と普遍的な育ちの道筋の理解をもって職員力を結集し、保育理念「人は関わり合いの中で育つ」を基に子ども達の可能性を広げる保育実践を標榜し、職員連携の強化を柱として1年間取り組みました。

一方で、人財確保には苦慮した1年でした。

～具体的な事業活動～

(1) 乳幼児保育 ～「わたし・ぼく困ってる」と言える・気づける保育～

- ・学科活動としてテーマを設置した職員間のグループ活動を行うことで、子どもの育ちと職員のスキルに働きかける保育実践を行うことができました。
- ・朝・夕の合同保育の充実を図り、縦横の人間関係の構築と育ち合いの場を確保しました。
- ・個々の特性を理解し、園内全体で一人ひとりの子どもを支える保育を実践しました。

(2) 地域支援活動 ～「いっしょにあそぼう」の姿勢で地域に開かれた保育園～

- ・行ってみようと思われる保育園を目指し、園庭開放では、園行事との連携を図りました。行事なしの園庭開放日の利用者増にはつながらず、付加価値が課題となりました。

(3) 人財育成 ～互いに学びあえる風通しの良い職場環境～

- ・園内研修の一環として、学科活動と称したグループ検討を取り入れました。職員間のコミュニケーションが深まることで、協働性の強化を図ることができました。

(4) リスク対応・環境整備

～「やってみたい」「やってみよう」と思える・言える・やれる環境設定～

- ・乳児の遊び環境の充実のために玩具などの設備の充実を図りました。
- ・マニュアル改訂は滞り、和7年度に計画的な改訂を進めます。
- ・0・1歳児クラスに午睡チェックセンサーを取り入れ、見守りの充実を図りました。
- ・効率的な業務推進のため、ノンコンタクトタイムの専用スペースを設けました。

～改善活動～

(1) 第三者評価については令和7年度8月に受審することとしました。

(2) 園内研修体系の試案を作成し、令和7年度に運用することとしました。